



NIITSU ART MUSEUM
新潟市新津美術館

美術講座 2026

【時間】 13:30～15:00 (開場13:00)
【会場】 新潟市新津美術館レクチャールーム
聴講無料 / 申し込み不要 / 定員50名 (当日先着順)

9/26 (土)

阿部展也 1950年代絵画と挿画のつながり

上池仁子 (新潟美術館 学芸員)

1950年代、新潟県出身の画家・阿部展也は、『芸術新潮』や『毎日グラフ』『朝日新聞』など幅広い媒体で挿画を担当しました。新潟市美術館所蔵のスクラップ帳と322枚の「習作群」を手掛かりに、同時代の阿部絵画と挿画の関係を探ります。

11/28 (土)

トルコの古代遺跡&博物館めぐり

山岸亜友美 (新潟美術館 学芸員)

2025年末に訪れたトルコ共和国の古代遺跡や考古学博物館についてご紹介します。日本からの観光ツアーでは行きづらいディープな場所も。現地の写真をたっぷりお見せします。
紹介予定：イスタンブール考古学博物館ほか

2027 年

2/14 (日)

漫画家・高野文子の活動 その2

大野智世 (新潟美術館 学芸員)

今回は『おともだち』『ラッキー嬢ちゃんのあたらしい仕事』を中心に、1980年代の作品を初出掲載誌とともにご紹介します。懐かしさを感じさせる世界観や映像的なアプローチ、しなやかな少女たちの描写の魅力に迫ります。

11/8 (日)

夢見る中世

小野百合香 (新潟美術館 学芸員)

19世紀英国では中世ヨーロッパの建築や美術への関心から、ゴシック・リヴァイヴアルの波がきていました。今回はラファエル前派の画家による絵画作品を中心に取り上げ、当時の人々が追い求めた理想の「中世像」を探ります。

12/5 (土)

伊勢神宮に関するよもやま話

— 遷宮、伊勢音頭…

奥村真名美 (新潟美術館 学芸員)

2033年に次の式年遷宮が予定されている伊勢神宮(三重県伊勢市)。画題として取り上げられた作品・表現から遷宮の準備が進む現在のようすまで、「一生に一度はお伊勢参り」とも表現される伊勢に関する一端をご紹介します。

2027 年

2/20 (土)

アッシジの大聖堂と聖フランチェスコ

石月裕子 (新潟美術館 学芸員)

イタリア中部の町アッシジは聖フランチェスコゆかりの地。チマブーエ、ジョットをはじめ13～14世紀に活躍した画家たちによるフレスコ画で彩られ、中世芸術の粋を集めたサン・フランチェスコ大聖堂を聖人の生涯を振り返りつつご案内します。

託児サービス(無料)

日時 美術講座の開講日13:00～15:30
対象 生後6カ月～未就学児
定員 3名(先着順)
申込 利用の3日前までに電話(0250-25-1300)でお申込みください。
※保育の専門スタッフがお預かりします。

お問い合わせ

新潟市新津美術館
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
TEL:0250-25-1300
FAX:0250-25-1303
museum.ni@city.niigata.lg.jp
<https://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

